

第6章 東部地域の役割

本市は、福島県の中央に位置するといった地理的優位性や、高速道路、新幹線、空港など高速交通の要衝としての特性を有するとともに、市民生活を支える多様な機能の集積、猪苗代湖や阿武隈川などの潤いや阿武隈山系の山並み、磐梯熱海温泉や布引風の高原といった観光名所など、市内外においても知名度の高い地域資源を有しています。

さらに、明治初期に安積開拓で切り開かれた豊かな農地と安積疏水の開削からもたらされた豊富な水により、飛躍的に発展してきた農業をはじめとし、昭和39年の新産業都市（※10）の指定や昭和61年の郡山地域テクノポリス構想（※11）の承認などにより、積極的な産業の振興が図られ、現在では、農業、商業、工業を基幹産業として発展し続けています。

このような中、第五次総合計画の地域づくりプランでは、各地域が持つ特性などを次のとおりとしています。

第五次総合計画 地域づくりプラン

■各地域の特性

東部地域 田村・西田・中田

東部地域は、阿武隈山系からなる豊かな自然環境に恵まれた森林丘陵地帯と田園が調和した景観を保っています。

また、近代美術等に親しむことのできる市立美術館のほか、江戸時代の文化を今に伝える高柴デコ屋敷の張子人形や柳橋歌舞伎、三春町の滝桜の子孫とも言われる紅枝垂地蔵ザクラなどの観光資源、歴史的遺産や自然を生かした公園、整備された農業基盤を生かした豊富な農産物や特産品など、さまざまな地域資源を有しています。

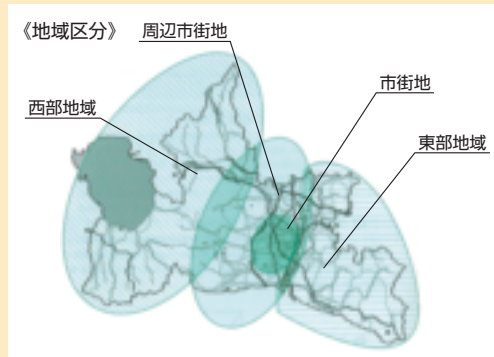
さらに、郡山東インターチェンジや大学をはじめとする研究機関、中央工業団地といった工業生産拠点をもつなど、さらなる発展の可能性を秘めた地域です。

市街地 旧郡山・富田・大槻・安積・富久山

この地域は、郡山駅や市役所を中心とする快適な日常生活を支える居住空間であり、商業や業務機能、都市機能が集積しているとともに、コンベンション機能（※12）などを有し、交流の拠点として経済・文化の発展に先導的な役割を担っています。

周辺市街地 片平・喜久田・日和田

この地域は、市街地の周辺に位置し、郡山インターチェンジ周辺には物流拠点が、郡山南インターチェンジ周辺には生鮮食料品流通拠点があり、その他各所に工業団地も配置されています。また、農業生産活動も盛んで本市農業の発展の一翼を担っています。



西部地域 三穂田・逢瀬・湖南・熱海

この地域は、市街地から西方に位置し、主に優良な農地と奥羽山系に属する恵まれた森林地帯、そして、本市の水道と農業用水を支える猪苗代湖を有しています。

さらに、磐梯熱海インターチェンジ、磐梯熱海温泉や日本最大規模の風力発電所が稼働している布引風の高原を有するなど観光面での発展も期待されています。

■東部地域の地域づくりの方向

第五次総合計画の地域づくりプランでは、7つの「東部地域の地域づくりの方向」を示しています。

「豊かな地域社会づくり」

子育て支援や世代間交流を進めるとともに、地域コミュニティ（※1）の醸成を図り安全で安心な地域をつくります。また、少子高齢化の傾向も強いことから、地域の人を地域で見守る体制づくりを進めます。

「交流ネットワークづくり」

地域資源を生かし都市と農村の交流や二地域居住に取り組みます。また、里地・里山づくりとして、田園や森林などの豊かな自然が育む風景の保全や活用を図ります。

「歴史・文化を生かした地域づくり」

古墳時代や江戸時代の歴史を伝える史跡や伝統ある踊りや歌舞伎など、地域資源である歴史や文化を伝え、活用を図ります。

「環境を守る地域づくり」

田園や森林などの美しい自然環境を地域住民が協働で保全し、自然と人が調和した快適なまちづくりを進めます。

「人材を生かした交流づくり」

各地域における地域づくりの推進役となる人材の育成を進めます。特に、すでに活動している団体の連携促進や学生パワーを生かした地域づくりについて取り組みます。

「花など地域資源を生かした観光ネットワークづくり」

各地域にある共通の資源である桜などの観光基盤を整備し、生かしながら、阿武隈地域に属する他市町村などとの連携も含めた観光ネットワークづくりを進めます。また、特産品づくりやその土地でしか味わうことのできない食文化の掘り起こしを進めます。

「公共施設を生かした地域づくり」

公民館などの公共施設を活用し地域活動を支援するとともに、市立美術館や大安場史跡公園、（仮称）東部森林公園など、公共施設を有効に活用した豊かな余暇活動を進めます。

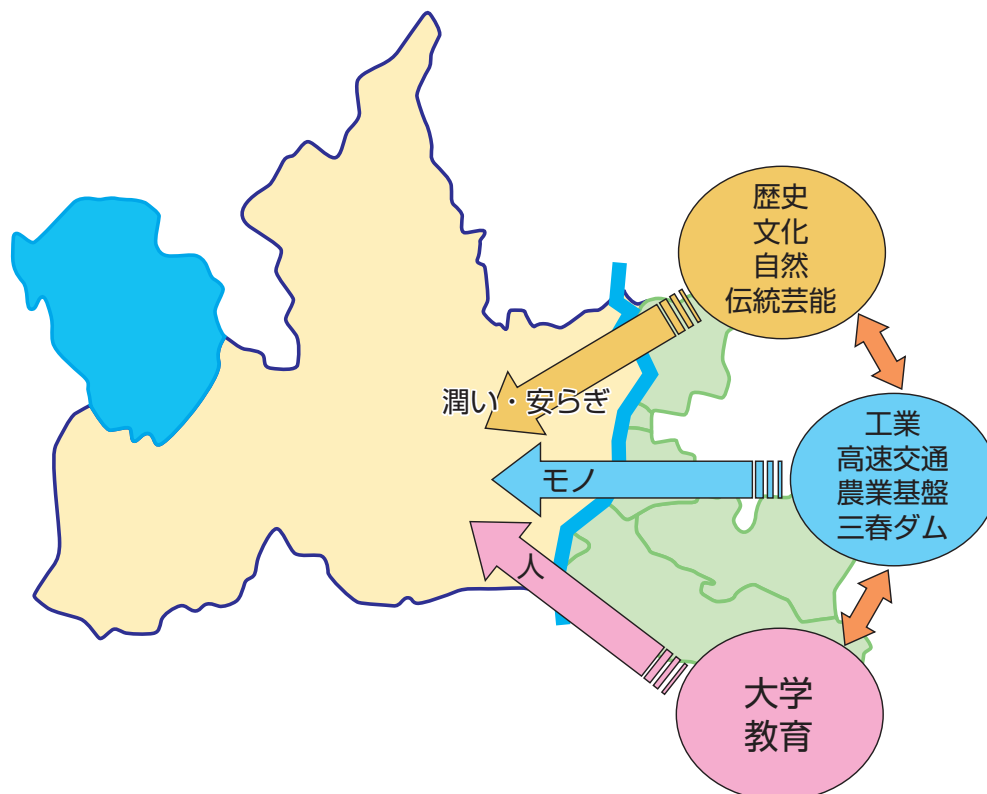
東 部 地 域 の 役 割

少子高齢・人口減少社会の到来により懸念される、人材不足などに伴う伝統文化行事の中断や労働力不足による産業の縮小、若者や女性のさらなる都市部への流出など、それぞれの地域が持つさまざまな課題に対応するためには、地域の状況に応じた取り組みを、中・長期的な視点で計画的に進める必要があります。

このような中、本地域は、その特性となっている豊かな自然や伝統芸能などの地域資源により、住民だけでなく、訪れた人々に「潤い」と「安らぎ」を与えることができる地域であることから、都市部の社会環境の悪化や、余暇時間の増大、レジャーや趣味の多様化などの進展により、「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」を重視するようになった都市の住民の関心が年々高まってきています。

また、本市発展の礎を築いた工場や高等教育機関、さらには、都市発展の原動力となる三春ダムや郡山東インターチェンジを有するとともに、福島空港とのアクセスが容易であることなどから、本市の農業、商業、工業、そして観光のさらなる振興を考えるうえで欠かすことのできない地域であります。

本計画では、花などの自然や、歴史・伝統芸能などを生かした「潤いと安らぎの創出」をはじめ、地域内工場における「工業製品の生産」、さらには、都市の発展や市民生活に欠かすことのできない「水の供給」、整備された農業基盤を生かした豊富な農産物による「食の供給」、大学などの「人材の活用」といった東部地域の役割を認識しつつ、本市を支えるこれらの地域資源を守り、最大限に生かしながら、新たな息吹を吹き込み、魅力と活力にあふれた地域づくりを進めていきます。また、本地域と他地域との機能を相互に補完させることにより、本市全体の持続的な発展を目指していきます。



第7章 計画の構成

1 将来像

第五次総合計画の将来都市像である「人と環境のハーモニー 魅力あるまち 郡山」を踏まえ、「まちづくりは人づくり」を基本とし、地域住民が主役の協働（※13）のまちづくりのもと、人と自然、地域と自然が共生し、地域に愛着と誇りをもち、安全・安心で快適な、「ずっと住み続けたい」、「住んでみたい」と思われる魅力と活力あふれる地域づくりを推進するため、東部地域の将来像を

人と自然、歴史文化が輝く 魅力あるまち と定めます。

これは、本地域における将来に向けた地域づくりの目標であり、本地域以外の地域と結びつき、全体として、第五次総合計画の将来都市像を実現していくものです。



2 基本理念

「まちづくりは人づくり」を基本として、今日まで培われてきた地域の財産である「自然」、「環境」、「伝統」、「文化」、「産業」、「暮らし」などを大切に育むとともに、新しい息吹を加えることにより、地域づくりの原動力となる住民力や地域力を高め、魅力と活力あふれる地域を目指します。

このため、施策の推進にあたっては、次の3つの理念を基本にしながら地域づくりを進めます。



3 基本方針

東部地域の将来像の実現に向けて、次の3つの「目指す地域の姿」とそれぞれの「基本施策」を定めるものです。

- ◇目指す地域の姿Ⅰ 「人と文化が響き合う魅力ある地域」
- ◇目指す地域の姿Ⅱ 「人と地域資源を生かした活気あふれる産業」
- ◇目指す地域の姿Ⅲ 「人と自然が調和した快適で安全な暮らし」

4 地域づくり戦略

「基本方針」の推進に向けて、「選択と集中」の理念のもと、重点的かつ先導的な地域づくりを進めるため、「戦略目標」、「施策の方向」、「施策の展開」を定めるものです。

この「地域づくり戦略」は、歴史的経緯や地理的条件、地域特性や課題の類似性、地域間の連携などを踏まえ、「Ⅰ 緑と歴史の里ゾーン」、「Ⅱ 文化と暮らしゾーン」、「Ⅲ 東部地域の玄関口ゾーン」の3つのゾーン（地域）に区分します。

5 広域的視点で取り組む未来へつなぐ地域づくり

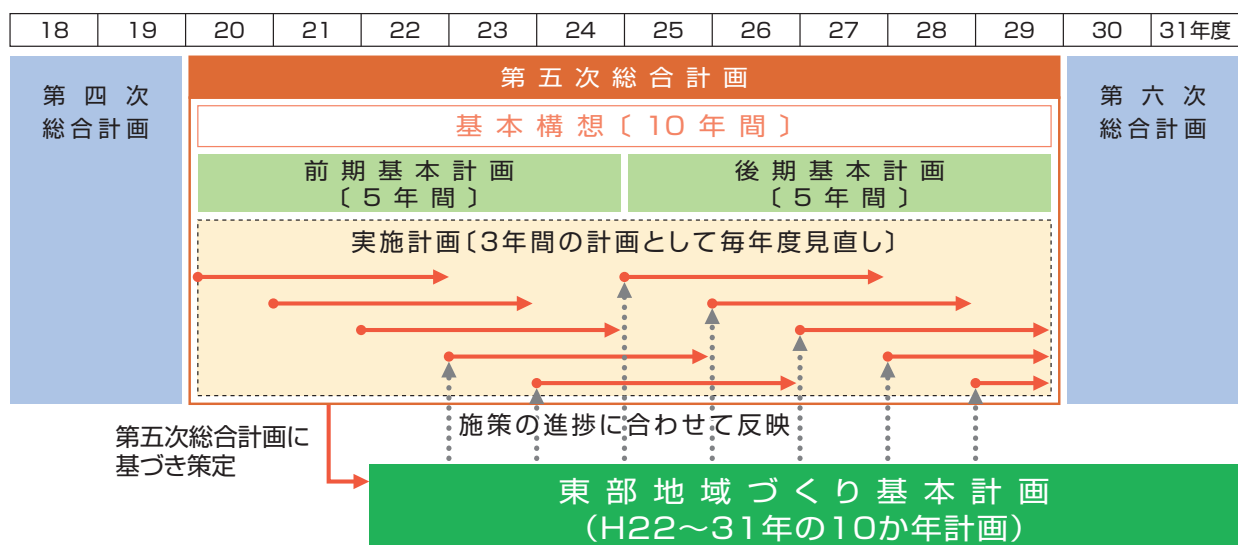
周辺市町村との広域的な交流や連携強化・促進を図り、持続的に発展する未来へつなぐ地域づくりを進めるため、次の3つの広域的な視点を基本に地域づくりを進めます。

- ①地域間交流・連携を支える広域交通ネットワークの整備
- ②地域産業振興のための広域連携
- ③市域を越えた持続的に発展する地域づくり

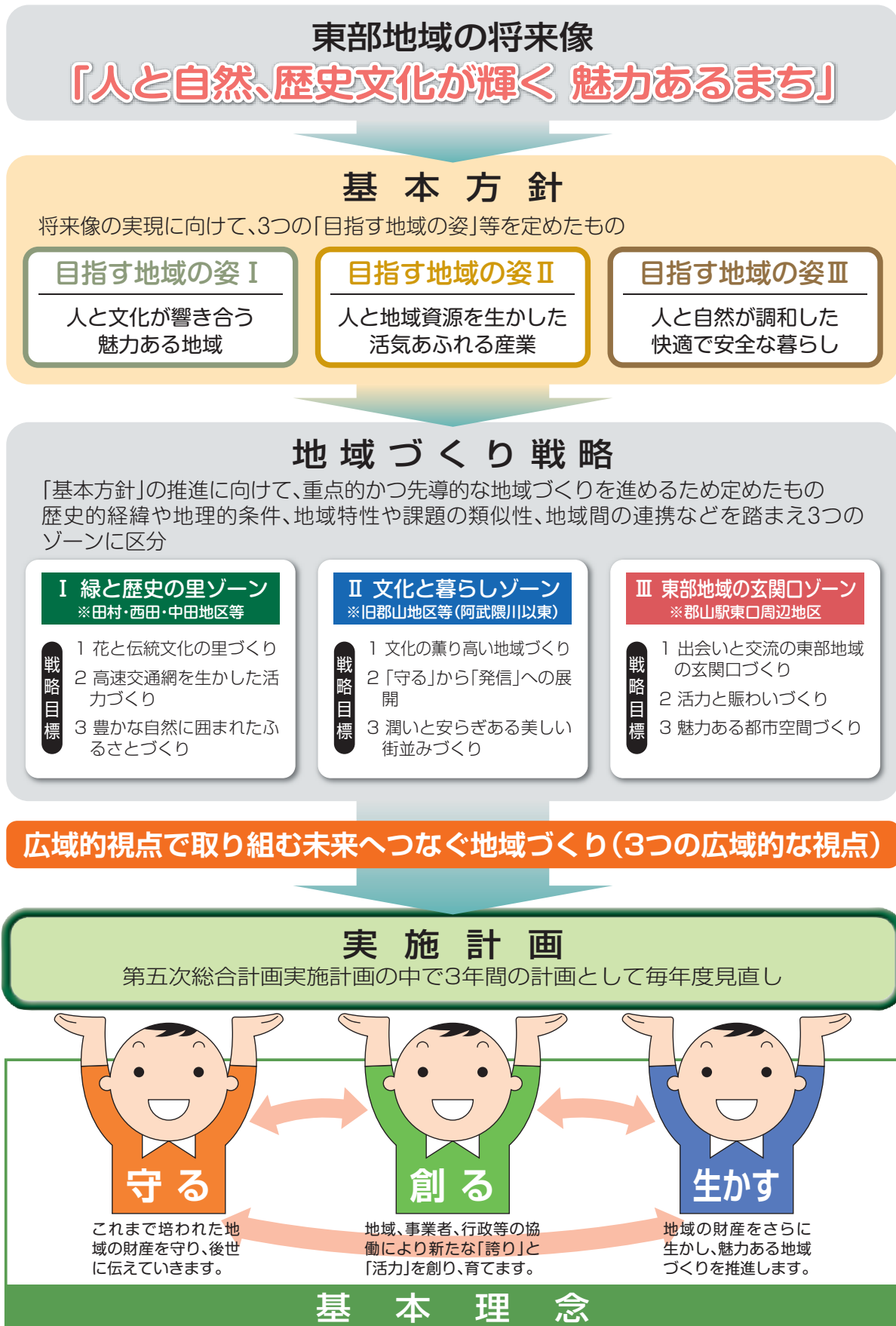
6 実施計画

「基本方針」や「地域づくり戦略」に位置づけられた施策などを、具体的な事業として、いかに具現化するかを明らかにするものです。

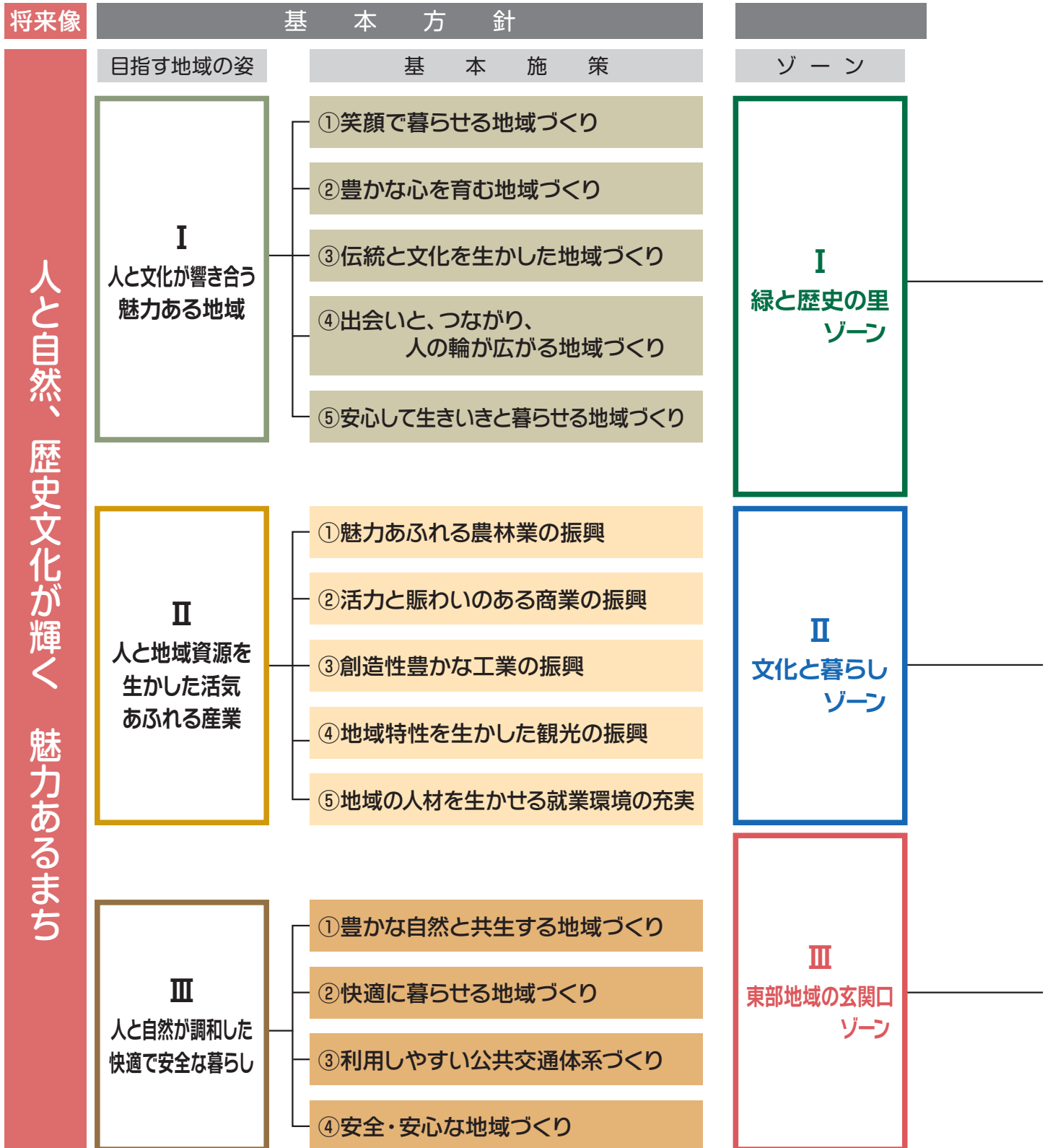
また、その進行管理は、第五次総合計画実施計画の中で、3年間の計画として毎年度見直しを行います。



7 全体構成



8 計画の体系



地域づくり戦略

戦略目標

施策の展開

1 花と伝統文化の里づくり

- ①花や伝統文化を生かした地域づくり
- ②伝統文化の保存と伝承
- ③人材を生かした地域づくり

2 高速交通網を生かした活力づくり

- ①持続的に発展する農業・商業の振興
- ②地域を支える工業の振興
- ③感動と出会える魅力ある観光の振興

3 豊かな自然に囲まれたふるさとづくり

- ①自然を生かした生活空間の整備
- ②憩いと潤いのある市街地の形成
- ③未来をつくる幹線道路の整備
- ④水郡線（磐城守山駅等）やインターチェンジ、空港を生かした地域づくり

1 文化の薫り高い地域づくり

- ①森の中の文化ゾーンの形成
- ②若者・夢通りづくり
- ③新たな拠点づくり

2 「守る」から「発信」への展開

- ①特産品づくりを核とした農業の振興
- ②歴史と文化の情報の発信

3 潤いと安らぎある美しい街並みづくり

- ①緑と花、水を生かした生活空間の整備
- ②自然と調和した潤いと安らぎのある市街地の形成
- ③磐越東線（舞木駅）を生かした地域づくり

1 出会いと交流の東部地域の玄関口づくり

- ①人・モノ・情報の交流拠点づくり
- ②「東北のウィーン 楽都 郡山」にふさわしい玄関口づくり
- ③広域観光ネットワークの起点づくり

2 活力と賑わいづくり

- ①人を惹きつける魅力ある商業地づくり
- ②都市環境と調和した工業地づくり

3 魅力ある都市空間づくり

- ①安全・安心な都市空間の整備
- ②人が輝く魅力ある郡山駅東口づくり
- ③安心して移動できる交通体系づくり

広域的視点で取り組む未来へつなぐ地域づくり

地域間交流・連携を支える
広域交通ネットワークの整備

地域産業振興のための広域連携

市域を越えた
持続的に発展する地域づくり

第8章 基本方針

この「基本方針」は、東部地域の将来像である「人と自然、歴史文化が輝く 魅力あるまち」の実現のため、3つの「目指す地域の姿」とそれぞれの「基本施策」を定めるものです。



目指す地域の姿Ⅰ 人と文化が響き合う魅力ある地域

基本 施策

- ① 笑顔で暮らせる地域づくり
- ② 豊かな心を育む地域づくり
- ③ 伝統と文化を生かした地域づくり
- ④ 出会いと、つながり、人の輪が広がる地域づくり
- ⑤ 安心して生きいきと暮らせる地域づくり

目指す地域の姿Ⅱ 人と地域資源を生かした活気あふれる産業

基本 施策

- ① 魅力あふれる農林業の振興
- ② 活力と賑わいのある商業の振興
- ③ 創造性豊かな工業の振興
- ④ 地域特性を生かした観光の振興
- ⑤ 地域の人材を生かせる就業環境の充実

目指す地域の姿Ⅲ 人と自然が調和した快適で安全な暮らし

基本 施策

- ① 豊かな自然と共生する地域づくり
- ② 快適に暮らせる地域づくり
- ③ 利用しやすい公共交通体系づくり
- ④ 安全・安心な地域づくり

目指す地域の姿 I ▶ 人と文化が響き合う魅力ある地域



人づくりは、まちづくりの基本になるものです。

「まちづくりは人づくり」を基本とし、地域住民が主役の協働（※13）による地域づくりを進め、本地域の伝統芸能や文化などの豊かな地域資源に誇りを持ち、また、守り生かすことにより、自然や歴史・文化にふれながら、安心して生きいきと暮らせる地域を目指します。

目指す地域の姿 I 人と文化が響き合う魅力ある地域

基本 施 策

- ① 笑顔で暮らせる地域づくり
- ② 豊かな心を育む地域づくり
- ③ 伝統と文化を生かした地域づくり
- ④ 出会いと、つながり、人の輪が広がる地域づくり
- ⑤ 安心して生きいきと暮らせる地域づくり

目指す地域の姿 I 基本施策

① 笑顔で暮らせる地域づくり（協働、地域づくり等）

地域住民が主役の協働（※13）による地域づくりやコミュニティ（※1）活動を推進するため、若者をはじめとするさまざまな世代が地域づくりの担い手として自主的・主体的に関わることができる環境づくりや交流・連携を推進します。

また、多様な主体による自主的・主体的な地域づくり活動に対する支援を行うとともに、他の地域や各種団体等が相互に連携し、協力し合うことのできる仕組みづくりを進め、地域資源を生かしたふるさとへの愛着や郷土愛の持てる地域づくりを一層推進します。

さらには、市民一人ひとりの思いやりの気持ちにより支えられる「心のユニバーサルデザイン（※9）」の推進や、男女がお互いを認め合い、生きいきと暮らせる男女共同参画（※14）の意識づくりを進めます。



高齢者と子どもたちの交流の様子（西田町）

② 豊かな心を育む地域づくり（教育、スポーツ）

子どもたちの個性や自主性を大切にしながら確かな学力を育てるとともに、心に潤いと感動をもたらす地域の自然や伝統文化とのふれあいの場の充実、高齢者の知識や技術を活用した学習や体験活動など、地域全体での関わりの中で、豊かな心と生きる力を育てます。

また、地域の実情を踏まえ、小中学校が連携した教育の推進などの教育環境の充実を目指すとともに、地域との連携による開かれた学校づくりや児童・生徒の安全・安心を守る環境づくりを推進します。

さらに、高等教育機関との連携により、地域貢献のできる人材の育成や地域づくりへの参画機会の充実による「知」の資源の活用を推進するとともに、健康や交流づくりのためのスポーツ環境の充実を図ります。



海老根手漉き和紙体験の様子（中田町）

③ 伝統と文化を生かした地域づくり（歴史・文化）

地域住民が誇れる貴重な文化財の保存や後継者の育成などの継承活動を支援するとともに、これらを生かした地域づくりを推進します。

さらに、市立美術館を文化芸術活動の拠点とし、若者をはじめとする地域住民の自主的な文化芸術活動等の充実や、新たな文化拠点施設の整備を検討するなど“森の中の文化ゾーン”の形成や賑わいをもたらす“若者・夢通り”（※15）（美術館通り）の実現を目指します。



柳橋歌舞伎の舞台裏の様子（中田町）

④ 出会いと、つながり、人の輪が広がる地域づくり（交流）

本地域の玄関口である郡山駅東口広場及びその周辺では、若者を中心としたイベントなどを通じ、地域間・都市間交流の創出を推進します。

その他の地域は、都市と農村交流や二地域居住（※16）など、地域住民の主体的な交流活動を支援するとともに、伝統文化活動など地域の特性を生かした交流を推進します。

また、観光を中心とした産業や地域づくりを通して周辺市町村との連携強化に努めます。

⑤ 安心して生きいきと暮らせる地域づくり（福祉）

少子高齢社会に対応するため、ボランティアやNPO（※17）、さらには、地域の各種団体などとの協働（※13）により、つながりや支え合いのある「住民が主役の地域社会」の実現を目指し、地域福祉を支える人材・団体等の育成や活性化を図るとともに、妊娠から出産・子育てまで、家庭や地域、事業者、行政等が連携し、地域全体で支援していく体制づくりを目指します。

また、高齢者や障がいをもつ人が地域活動などへ参加できる機会の拡充や自立に向けた取り組みへの支援を推進するとともに、健康づくりの機会や地域医療などの充実を進め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。



すくすくサロンの様子（芳賀）

目指す地域の姿 II ▶ 人と地域資源を生かした活気あふれる産業



本地域は、郡山駅をはじめ、郡山東インターチェンジや福島空港とのアクセスの容易さから、地域産業の振興において可能性を秘めた地域です。

本地域の強みである人材や豊かな自然、伝統芸能や文化、農産物、本市発展の礎を築いた企業などの地域資源や、郡山東インターチェンジを有するといった地理的特性を生かしながら、農業、商業、工業、そして観光の連携を図り、活気にあふれ躍動する産業の振興を目指します。

目指す地域の姿 II 人と地域資源を生かした活気あふれる産業

基本 施 策

- ① 魅力あふれる農林業の振興
- ② 活力と賑わいのある商業の振興
- ③ 創造性豊かな工業の振興
- ④ 地域特性を生かした観光の振興
- ⑤ 地域の人材を生かせる就業環境の充実

目指す地域の姿Ⅱ 基本施策

① 魅力あふれる農林業の振興（農林業）

本地域では、これまで国営郡山東部地区総合農地開発事業等により、大規模な農業生産基盤の整備が行われ、生産性の向上と経営の安定化など農業環境の向上が進められています。

将来にわたり持続的に発展する農業の振興を図るため、農業経営の安定化をはじめ、新たな担い手の育成や支援強化、農業農村体験による都市と農村との交流の推進とともに、耕作放棄地（※18）の解消や自然環境に配慮した環境保全型農業の支援による安全で安心な食を支える農業を進めるなど、本市の「食」の供給地として、活力ある農業・農村の確立に努めます。

また、本地域における農業の中核拠点づくりを進め、特産品づくりや販売体制の支援、地産地消（※4）の拡大、付加価値化やブランド化、そして情報発信の強化などに努めるとともに、商工業や観光との連携強化を推進します。

さらに、地域住民が「農や森林」の恩恵を受けられる環境づくりを進めます。

② 活力と賑わいのある商業の振興（商業）

郡山駅東口周辺では、集客力の高い魅力的な商業施設の充実と賑わいのある商店街の形成を目指すとともに、駅西口等の快適に回遊できる環境の整備に努めるなど、駅東口と西口とが相互に補完・連携する魅力ある商業地づくりを推進します。

また、各地域では、地域特性を生かした住民から愛される商店街づくりを進めます。



郡山駅東西地区の現在の様子

③ 創造性豊かな工業の振興（工業）

本市発展の礎を築いた郡山駅東口周辺や中央工業団地の企業などを中心とした地域産業の振興、良好な生産活動を促進するための立地環境の向上、さらには、地域との共存共栄による工業の振興を推進します。

また、企業間の交流・連携を推進するとともに、モノづくりによる新産業創出の拠点となるインキュベーション（※5）等の研究施設の活用や産学官連携（※19）を推進するなど、本地域の強みを生かしながら、本市の工業を牽引する、活力ある産業の振興を図ります。

さらに、高速交通網を生かし、戦略的な企業誘致を進め、地域経済の活性化と就業環境の充実を図ります。



本市発展の礎を築いた中央工業団地

④ 地域特性を生かした観光の振興（観光）

本地域の豊かな自然、伝統芸能や文化など地域資源をネットワークで結ぶ観光ルートの設定や魅力ある観光地の整備、新たな観光資源や観光ビジネスの創出、情報発信の強化、“東部地域らしさ”を生かした体験・交流型観光や滞在型観光の創出、「食する観光」の充実に努めるなど、本市の観光振興の一翼を担いながら、人を惹きつけることのできる本地域の魅力を生かした観光地づくりを進めます。

さらに、福島空港や高速交通網を視野に入れながら、周辺市町村と連携し、戦略的広域観光の構築を目指します。

⑤ 地域の人材を生かせる就業環境の充実（雇用と就労）

本地域における雇用の場の確保に努めるとともに、定住人口の確保や地域活性化を図るため、新規卒業者やU・J・Iターン（※20）希望者等に対し、地元企業の就職情報の提供を行うなど、本地域への就労促進に努めます。

特に、農業生産活動の維持・発展や遊休農地の解消などの課題を抱える中山間地域においては、新たな農業の担い手となる新規就農者の確保や農業生産法人による雇用の創出を支援します。

また、少子高齢社会や男女共同参画社会（※14）を踏まえ、高齢者や女性に対する雇用環境の充実を図ります。



郡山市企業立地セミナーの様子

目指す地域の姿 Ⅲ▶ 人と自然が調和した快適で安全な暮らし



本地域は、阿武隈川といった潤いのある水辺空間や、宇津峰をはじめとした山々の緑、また、自然や貴重な歴史的資源を生かした（仮称）東部森林公園や大安場史跡公園など、豊かな自然と、郡山駅を中心とした都市的空間を有しており、それらが調和する魅力ある地域です。

これらの豊かな自然や農地等を保全しながら、まとまりのある市街地や地域拠点を形成するなど、開発と保全を明確にしたコンパクトな地域づくりを推進し、人、自然、歴史・文化が調和する快適で安全な地域を目指します。

目指す地域の姿 Ⅲ▶ 人と自然が調和した快適で安全な暮らし

基本 策

- ① 豊かな自然と共生する地域づくり
- ② 快適に暮らせる地域づくり
- ③ 利用しやすい公共交通体系づくり
- ④ 安全・安心な地域づくり

目指す地域の姿Ⅲ 基本施策

① 豊かな自然と共生する地域づくり（環境、自然）

恵まれた自然を生かし、阿武隈川などの水辺や緑地の活用と保全を推進するとともに、住民や地域活動団体等との協働（※13）による水と緑、そして花を生かした空間づくりを進めるなど、本市における「潤い」と「安らぎ」の空間として、自然と共生した地域づくりを推進します。

また、これら本地域の豊かな自然などを生かしながら、地域や家庭、学校での自主的、主体的な環境保全活動を推進します。

さらに、郡山駅東口周辺や市街化の進んだ地域には、住民の憩いの場として、また、災害時の防災空間として、身近な公園の整備を進めます。

② 快適に暮らせる地域づくり（住環境）

地域住民が豊かで快適に生活できるよう、防災機能や地域景観等、安全性や周辺環境との調和、さらには、ユニバーサルデザイン（※9）の考え方にも配慮した住環境の整備を推進します。特に、一定の規模を有する集落では、定住人口の確保に努めるとともに、人口増加に向けた方策の検討を進めます。

また、日本の原風景を未来に伝えるため、中山間地域に残る古民家の再生を促進します。

さらに、水道水の安定的な供給や未給水区の解消を推進するとともに、適切な污水处理施設の整備や市街地の雨水対策など、生活環境の向上に努めます。

③ 利用しやすい公共交通体系づくり（交通）

子どもや高齢者など、すべての人が快適に移動できるよう、バスや鉄道などを中心とした公共交通のネットワーク化や周辺市町村との連携による広域公共交通ネットワーク化を目指すなど、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（※9）に配慮した新たな公共交通体系の構築に努めます。

特に、郡山駅東口は、本地域ばかりでなく、周辺市町村も含めた広域的な公共交通の起点としての機能充実を目指します。

④ 安全・安心な地域づくり（都市基盤、安全・安心等）

本地域の玄関口である郡山駅東口では、本市の都市イメージである「東北のウィーン 楽都 郡山」（※21）にふさわしい駅東口広場の環境整備や商業施設・医療福祉施設の充実、さらには、まちなか居住の推進などによる都市機能の充実を図り、中心市街地である駅東西地区の均衡ある発展を目指します。

また、駅西口との回遊性の向上や各地域拠点と相互に補完し合うため、幹線道路や橋りょうの整備に努め、地域全体が持続的に発展する地域づくりを推進します。

各地域では、自然や農地等を保全しつつ、地域特性を生かしたコンパクトな地域づくりを目指し、公共施設や駅、地域資源、さらには郡山東インターチェンジを核とした地域拠点の形成を推進するとともに、安全性や快適性、広域的連携を考慮した道路等の整備に加え、浸水や土砂災害等への防災対策、さらには、犯罪の未然防止に向けた防犯対策など、安全・安心な地域づくりに努めます。